

3

にんぎよ す
人魚が住んでいたの、
あお つめ
青く冷たい、
きた うみ
北の海でした。

ばん にんぎよ すいめん う で いわ あ
ある晩、人魚は水面に浮き出た岩に上がって、
あた けしき
辺りの景色をなが
めていました。

ときおり くも
時折、雲のすきまからこぼれた
つき あ
月の明かりが、
うみ うえ
海の上をさびしく
て
照らしていました。

にんぎよ なが あいだ はな
人魚は長い間、話しをする相手もなく、
あか うみ うえ
いつも明るい海の上で
く にんげん
暮らす人間たちにあこがれていました。

わたし にんぎよ すがた にんげん か
(私たち人魚の姿は、人間とほとんど変わらない。それなのにな
にんぎよ にんげん
ぜ人魚は人間ではなく、こんな
つめ うみ なか さかな
冷たい海の中で、魚たちと一緒に
く
暮らさなければいけないの?)



5

にんぎょ　じぶん　なか　やさ
人魚は自分のお腹を優しくなでました。

にんぎょ　なか　なか　こ
人魚のお腹の中には、子どもがいました。

(これから生まれてくる子どもには、こんな暗い、悲しい生活はさせたくない。離ればなれで暮らすのはさびしいけれど、どこにいても元気で暮らしてしてくれるのならば、それだけでいい。人間はみんな優しい人ばかりだから、きっとこの子もかわいがってくれるはず)

しばらくして、にんぎょ　くら　つめ　うみ　およ　りくち　む
人魚は暗く冷たい海を泳いで、陸地に向かいました。

かなた　かいがん　こだか　やま　じんじゃ　あか　なみま　う
はるか彼方、海岸の小高い山にある神社の灯りが、波間に浮かんで消えていました。



29

A mermaid lived in the chilly, blue, northern sea.

One night, the mermaid crawled onto a rock above the sea surface, and was looking at the view around the sea.

From time to time, the moonlight, passing through the cloud breaks, was sorrowfully shining on the sea surface.

For a long time, the mermaid had no one to talk to and was always jealous of the humans living in the brighter world above the sea.

(Although we mermaids and humans look hardly different, why mermaids have to live in such a cold ocean with fish instead of with humans?)



3 1

The mermaid gently stroked her belly.

There was a baby inside the mermaid's belly.

(I don't want my child to have such a miserable life like mine. It will be tough to live apart, but as long as my baby can live happily somewhere, I am fine. I know humans are all kind hearted and they will surely take great care of my baby.)

After a short while, the mermaid swam through the dark cold sea and headed to the seashore.

There was a reflection of a light from a distant shrine on the small coastal hill, shinning on and off on the waves.

